

ブリ人工種苗を2年間養成した親魚を用いた12月採卵の成功

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 浜田, 和久, 虫明, 敬一
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014580

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



ブリ人工種苗を2年間養成した親魚を用いた12月採卵の成功

浜田和久・虫明敬一

12月採卵により得られたブリ人工種苗を約2年間養成した2歳魚（平均尾叉長55cm，平均体重3.8kg）を採卵用親魚として，10日間の短日処理（8L16D）と80日間の長日処理（18L6D）を組み合わせた日長および最低水温を19℃に維持する水温の両条件で制御することにより，雌親魚の卵黄形成の促進を図り，ホルモン（HCG）を用いて産卵を誘発した。その結果，成熟の同調性も高く，総採卵数で227.3万粒が採卵でき，受精率，ふ化率等の成績ならびに得られた仔魚の活力，成長および生残率も従来の天然魚を養成した親魚と比較して差はなかった。採卵用の親魚に養成するまでの期間がこれまでの3年から2年へ1年間短縮できることが示唆された。

栽培技研，34(2)，73-77，2007